

日本の生態系を 守りたい

市木小学校6年 宮内 甫和

ぼくは、動物が大好きで、図鑑などをたくさん持っています。

ユーチューブなどで、動物の動画を見るともよくあり、その中で、アメリカザリガニという存在を知りました。

アメリカザリガニは、条件付き特定外来種で、日本の生き物をおびやかしています。例えば、ザリガニが増えるとヤゴが減り、トンボが減ると蚊が増える。このように生態系が外来種によってこわされていきます。

そうすると、固有種が減って、外来種が増えたり、固有種と外来種が交雑したりして、絶滅危惧種や天然記念物などの日本固有の生き物がおびやかされてしまいます。例えば、中国オオサンショウウオとオオサンショウウオが交雑してしまい、交雑したものと、日本固有のものを見分けることができないことが、今、大問題となっています。

串間には、外来種はいないと思っていたら、ぼくの住んでいる地区に、ウシガエルやニシキゴイなどがいました。これらは、全て外来種です。

ぼくたちの住む市木地区の川で、大きなニシキゴイがゆうゆうと泳いでいます。しかし、在来種の鯉は琵琶湖の周辺にしかいないそうです。ニシキゴイを放流しているところもありますが、ニシキゴイは、世界的外来種ワースト100に入っています。

串間市青少年の声を聞く会

主催／串間市青少年育成市民会議 串間市教育委員会



それだけではなく、日南市にはオキナワキノボリトカゲやブラックバスもいます。

オキナワキノボリトカゲは、沖縄に生息する、絶滅危惧種の生き物です。沖縄に行った時にも見たことがあります。日南市にもいると聞いて、今年の夏休みに日南市の小さな山に見に行きました。すると、そこで5匹以上のオキナワキノボリトカゲを見つきました。きっと、その山で繁殖していると思います。これは、宮崎の、そして日本の生態系の危機だと思います。

「何とかしないといけない。」

ぼくは、宮崎の、そして日本の生態系の危機的状況を一人でも多くの人に知ってほしいと思いました。そしてその第一歩として、この「青少年の声を聞く会」での発表者に立候補し、今この場に立っています。

みなさんも身近な生態系について、考えてみませんか。

オキナワキノボリトカゲ
発見したよ！



*1月18日に串間市文化会館で開催された「第43回串間市青少年の声を聞く会」に市木小学校から参加した、6年生の宮内甫和さんの発表をご紹介します。